

3月まででカットは無しと言ったはず

財務省は、教員の給与をどう考えているのか

私たちは、この間地方公務員の賃金カットが実施されても、子どもたちの教育に全力で取り組んできました。しかしこれが来年度実施されると、あまりの給与減額の連続に、教師としてのやる気を失い、子どもたちの教育の充実にも逆行する事になります。

11月9日付四国新聞は「財務省が公立小中学校の教員給与を見直し、2014年度から平均年収で約10万円引き下げる案を文部科学省に示したことが8日分かった」という記事を掲載しました。

2012年度の教員（大卒で平均43歳）の平均年収は60万7千円で、一般行政職の地方公務員（同）と比べて10万2千円上回っています。この提案は、財政状況が厳しいことから、教員の年収を一般行政職並みに抑え、国の歳出を250億円程度減らそうと狙うものです。

香教組は、県教委総務課から「地方公務員の賃金カットは3月一杯で元の給与に戻ります。10年前に採用された人も、初めて給与表の通りに給与が支給されます」との連絡を受け喜んでいました。ところが財務省は、11月8日に突然2014年度の教員給与を引き下げる提案を文科省に要求してきたのです。

秘密保護法案が可決

東京は平日の夜でも怒涛の状態だった



日比谷野音に集まった秘密保護法案に反対する人たちは12.6

12月6日（金）の夜「特定秘密保護法案」が参議院で可決されました。ジャーナリスト、弁護士、マスコミ関係者など様々な人たちが大反対した法案が、与党の一方的な暴走で成立しました。

安部首相は、強行によって支持率を10ポイントも下げたため国民に説明すると、翌日に記者会見を打ちましたが、これは、平日の夜だったにも関わらず、国会前に1万以上の人が取り囲み、デモ行進しようとする1万5千人の人たちが国会前に行くこともできなくなるほどのすさまじい状態だったからです。新聞報道も充分に伝えています。日比谷野音から国会前は10分もあれば行くことができるのに、デモ行進するだけで3時間半もかかったほどだったのです。

睡眠時間は取れていますか

7年に調査した「うつ病と労働時間」には、残業がない労働者と月に2時間程度残業がある労働者の比較では、睡眠時間の減少から、うつ病の発症率が2倍になるといいます。2012年度の香川県の病気休職者は養護・事務・栄養を含む39名、長期の休職者は42名にもなっている。教員の場合、精神的に苦痛に感じるのは、仕事が急増したこともあるが、仕事量の多さよりも父母や子どもとの対応で心を痛める人の方が多く、その数は、一般企業の2.5倍になると言われている。▼私の大学時代の友人も心の病から現場を去り、家で畑を耕す生活を送っている。▼一度心の病を発症すると元に戻りにくいだけに大変なようだ。

香川教育

発行所
高松市田村町1033-3
TEL (087) 867-4797
FAX (087) 867-6446
香川県教職員組合
定価 1部50円 1月100円
組合員の購読料は組合費を含む

香教組ホームページ

<http://www.niji.or.jp/home/kakyoso/homepage>

中四九職場活動活性化、組織拡大・強化めざす
ブロック会議
2014年
1月26日（日）
11:00～
岡山県勤労者福祉センター

金の引き下げを盛り込むことに絶対反対であり、強く抗議の意思を表明します。

もともと教員には、1974年2月に施行された「人材確保法」（教職員の給与水準を引き上げることで子どもたちの教育

の前進にとって優秀な人材を確保しようとするもの）があります。だから県職の公務員より5%程度給与が高いのは当たり前だったのです。

それなのに安倍政権は「教育再生」と銘打って「人材確保法」に基づく優遇措置を縮減する」というのです。どこが「教育再生」でしょう。再生どころか「教育破壊」以外の何ものでもありません。

このねらいはどこにあるのでしょうか。一つは、教職員への賃下げを強行することで、引き続き公務労働者への賃下げ攻撃に繋げようとしていること。二つめは、教員だけが下がるのだから公務員全体でないと県職や市職の公務員全体の問題と見せか

けることです。

香教組は、いじめ問題や学力遅れなどの課題をかかえる子どもたちの教育にとって重要なことは、教職員が学校現場で、生活の不安なしに教育に専念できる賃金・労働条件の保障をすることだと考えています。

県教委に申し入れを

香教組は、以上のことから次のことを県教委に申し入れます。

① 財務省が2014年度予算編成で、教職員賃金の引き下げを盛り込まないように香川県教委に要請してもらいたいこと。

② 文科省は、予算編成に向けた財務省の教職員賃金の引き下げに反対するよう頑張ってもらいたいとの意見を表明すること。

小黑板

2008年に居酒屋の〇〇で働いていた社員が、長時間勤務の連続で時間外労働が140時間を超え適応障害を発症し、自宅近くのマンションの踊り場から飛び降り自殺をした。▼この問題で両親が、現在参議院議員になっている方を相手取り損害賠償を求めて訴訟を起こしている。▼過労死認定基準の専門検討会報告書では「長期間にわたる1日4時間～6時間以下の睡眠状態では、睡眠不足により脳・心臓疾患の有病率や死亡率を高めると報告している」

睡眠時間は取れていますか

文科省が土曜授業へ省令を改正

東かがわ市、さぬき市などが夏休み短縮か？

空調と引き替えに授業？

「東かがわ市が、夏休みなどの長期休業の短縮を考えている」という記事が11月27日に四国新聞に掲載されました。その後県教育長は、8月25日以降は行事を入れない方向でと発表。さぬき市も12月の定例議会で安藤教育長が「市立小・中学校の授業時間確保という方向で長期休業日の短縮という方法が有効な手段の一方策である」と答弁、東讃地域の小中学校は、夏休み短縮の方向へ舵をきり始めています。

東かがわ市の記事が出た日に香教組に、親や教員から10数件の電話やメールが届いたことは、前回の香川教育でも記事にしました。

さぬき市も12月10日の四国新聞に、授業時間の確保ということから、長期休業日の短縮による「教育的効果研究指定校事業」として市内全15小中学校を対象範囲を拡大して取り組む考えを示しました。

さぬき市教委は、夏休みを3日程度短縮して2学期の始業を早めること。空調設備の整っていない松尾・富田両小学校は冬休みを2日程度短縮する方向で検討を始めていると述べています。

香教組は、夏の暑さが以前と比べて非常に温度が高くなっている実態から、子どもへの負担が大ききことを心配します。現在でも9月の始めに朝会などで

倒れることが多いのに無理をしているような気がします。また、空調が整ったからといって安易に夏休みを短縮して授業を始めても効果が薄いのではないのでしょうか。

唯一ゆっくりと研修や教材研究ができる夏休みが短縮されることは、私たち教員にとっても本当にそうするべきなのか疑問をいただきます。



夏休みに実施される教育のつどい=2013年度

社会福祉センターが満席！憲法講演会に280名

12月1日高松高校東側の社会福祉総合センターで、憲法講演会を開催しました。講演会には、俳優・演出家・画家と多彩に活躍している米倉斉加年さんを講師に迎え、「戦争したがるニッポン」の演題での講演でした。米倉さんは、古くは「国盗り物語」「勝海舟」「風と雲と虹と」「花神」などのNHK大河ドラマをはじめ、山田洋次監督の映画「男はつらいよ」シリーズにも度々登場し、最近のテレビドラマでは「ちりとてちん」「坂の上の雲」「砂の器」「相棒」「とんび」などでおなじみの俳優です。絵本作家としての著作『おとなになれなかった弟たちに・・・』は、現在、中学1年生の国語の教科書にも採用されています。



講演のなかで米倉さんは、『おとなになれなかった弟たちに・・・』のなかから、「ぼくが国民学校4年生だったときに弟ヒロユキが生まれた。父は戦争に行き不在だった。

戦争が激しくなり空襲を受け防空壕で毎晩暮らす生活のなかで、日本中、もちろんぼくの家も食料が不足し、母は自分が食べる分をぼくや妹に回していたが、満足に食べないために母は母乳が出なくなった。

乳児であるヒロユキは乳を飲むしかないにも関わらず、ときどきにしか配給されないヒロユキの為のミルクを、甘いものが欲しいぼくは盗み飲みしてしまう。そんなぼくに母は怒るでもなく、『ミルクはヒロユキのごはんだから、ヒロユキはそれしか食べられないのだから』と言う。さらに空襲がひどくなり母は疎開を決心する。やがて疎開先が見つかったが、疎開先でも食べるものと交換に持っていた着物を出さねばならず、やがて着物

も無くなる。そしてヒロユキは栄養失調で死亡した。

母はヒロユキが死んだ際にも涙を見せなかったが、ヒロユキを小さな棺に入れるとき、棺が小さすぎてヒロユキの亡骸が納まらなかった。母は（ヒロユキがほとんど乳を飲むことができなかったにも関わらず、少しは）『大きくなっていたんだね』と言い、そして、それまで決して涙を見せなかった母がはじめて泣いた。終戦の約半月前のことだった・・・戦争ではたくさんの人が死にます。そして老人、女、子どもと、弱い人間から飢えて死にます。私はそのことを忘れません。そのことを私たちは忘れてはならないと思います。そのことを忘れて、私たちの平和は守られないでしょう。また太平洋戦争は日本が始めたものであり、朝鮮、韓国、中国、東南アジア諸国および南方諸島の多くの国の人民に日本人が苦しんだ以上の苦しみを与えたことを忘れてはならないと思います」と述べました。結びに、日本国憲法の前文と第九条を朗読して講演を閉じ、たいへん感動的な講演会でした。